

「花粉症」

～～～なって初めてわかる相手の立場～～～

ついに、私も「花粉症」になったみたいです。

「花粉症」になって始めて、「花粉症」のつらさが実感してます。

人間はいくら「相手の立場になれ！」と言われても、
やはりなってみないと「実感」しないものですね。

よく研修では、

「情報の共有」よりも「事実の共有」が大切。

「事実の共有」よりも「体験の共有」が重要。

「体験の共有」が出来ると、次は「価値観の共有」につながると言っております。

「花粉症」だった人からは、「ようそこいらっしやました！」
ちなみに、あの石原都知事も今年花粉症になったようです。
すると花粉症の長男から「ようこそ」と言われたみたいですね。
そして、面白いことに「政府も根本的に花粉症対策」
・・・杉(森林)対策を国として取り組むべきと提言したとか？
人間とは、おもしろいですね。

いくら、知識の上で理解していても、
自分で体験しないと人間は本当の意味でわかってはいないもの。
だから、今、教育の現場でも言われていることは、

「教える」ことから「気づかせる」

ことに力を入れております。

私も企業の研修現場でも一方的に知識とスキルを教えるのではなく

ワークショップという擬似ゲームを通して、

双方向で「体験」の中から「気づき」をいかに、知識・智恵などで昇華させるか？

に重点においております。

結果、時間がかかっても、長期的に考えると効果が大きく

個人が成長し、チーム力が付くと考えられております。

<コメント>

人間はいくら頭で理解しても、本当にわかってはいないもの！

「論語読みの論語知らず」

学ぶとは、行動すること！・・・体験なくして成長なし！

しかし、人間には智恵がある。

智恵とは感性であり、イメージであり、素直に実感することである。

みなさん！ 右脳を磨き、感性を研ぎ澄ましましょう！